

櫻沢 保議員  
さくらざわ たもつ

# 問 役場窓口に「相談コーナー」を設置すべきこと

答 実施に向けて対応します (町長)

**問** ①介護保険料の値上げや国民健康保険料の変更等については、制度の趣旨等について親切・丁寧に、町民に説明して理解と協力を得ながら、町政を進めていくことが極めて重要。

②町民の中には、介護保険料の値上げ等について、大変複雑でよくわからないという声あり。役場に出向き、いろいろと相談等始めると周囲の人が話の内容を聞いているようである。具体的な家庭内の事情等は話したくないとのこと。

③そこで、役場の片隅等に小さな「相談コーナー」を設置し、「詳しい話は、相談コー

ナーでお聞きしましょうか」と、ちよつと一言声をかけて相談に応じるべきと考えますが、答弁を求めます。

**町長** 空きスペースを利用した相談スペースの確保やパーティションの設置等、できることから実施に向けて対応します。

## ネットを活用した漫画図書館の新設等について

**問** ①図書館の利用状況等をみると、貸出延べ人数は7638人。うち平日の貸出人数は4237人。平日の1日平均利用者は、

わずかに約16人で利用者も特定化の傾向。

②図書館利用者が少ない理由は、図書の購入費の少なさや蔵書が少ないことも一因。しかし、基本的には、図書館が面白くない・図書館に魅力がないからと思慮。

③そこで、ネットを活用し、町内を初め全国の人に図書の寄付の呼びかけをし、蔵書数の充実、ii)漫画に特化した「日本一おもしろい図書館・日本一の漫画図書館の新設」に挑戦して見てはどうか。答弁を求めます。

**教育長** 図書館利用者から漫画のリクエストがないことや大量に寄贈され

た場合の図書の整理作業を考えると漫画図書館の設置は難しいと思います。

**町長** 発想はおもしろいので、人の集まる拠点づくり的なものとして参考としてまいります。

## 下水道事業計画の見直し状況等について

**問** ①6月議会において、下水道事業は、多額の費用を要し町の財政を圧迫していること、また受益者・

地域が限定されていることから、非効率な事業計画を抜本的に見直し、下水道事業に係る予算を大幅に削減すること等を質問。

②これに対して、費用対効果を考えたととき、疑問が残る地区・整備計画もあるが、本庄市等の構成市町等の了解が得られないと事業計画の見直しは、難しい旨の答弁をいただいているところ。

③その後の見直しに向けた取り組み状況・方向性等の現状について、答弁を求めます。

**町長** 公共下水道事業の全体計画の見直しに向けて関係機関と協議・調整を進めています。具体的な方向性については、今後の協議等の進捗状況を踏まえて、報告してまいります。



塩原 浩議員

# 町道1の7号線の安全確保について

**答** 危険な箇所があれば、解消していきます。(町長)



**問** 大沢小学校から円良田農村センターまでの間は3キロメートルと距離もあります。その上、山を越えていくため高低差は87メートルもあり、急な上り坂となっています。毎日29階建ての超高層マンションを越えて通学しているようなものです。

**町長** 私も町長に就任した当時、町道1の7号線を何とかできないかと検討した経緯がありますが、勾配がきつく、補助対象道路としては難しい状況です。道を真っすぐ円良田方面に出していくようにするには、かなりの費用がかかると思込まれるため、そこに踏み込むという判断をせずに今まで来ています。

れら野生動物から児童をどう守るのですか。円良田地区によく似た寄居町の風布地区では、10年以上前から町の全額負担でタクシーを利用している

登下校を行っています。今後この地区を中心とした、スクールバスの運行について考えを伺います。

**町長** 現状の通学路が危険区域にあるという

用を始めた自治体もありません。空き家という資源を活用することで、安価に住宅を取得したい若者に提供し、定住をさらに促す効果が期待できると考えますが、どう考えていますか。

県道広木折原線に合流するまでの約1キロメートルの間は、道路幅が狭い上に急カーブが多く、山林と耕作放棄地に囲まれています。見通しが悪いこの道路に対し、どのような対策を考えているのか伺います。

最近では交通や防犯面だけでなく、大型のイノシシや鹿などの野生動物が出没するようになりました。この

**問** 最近では交通や防犯面だけでなく、大型のイノシシや鹿などの野生動物が出没するようになりました。この



円良田方面からの通学路

**問** 空き家条例や空き家バンクをつくり、運

空き家を活用し若者の定住を促す対策を

**町長** 空き家を資源として有効活用し、定住促進を促すための仕組みづくりについても検討が必要であると考えています。そのために、まず現在、町内に存在する空き家を正確に把握する必要があるので、町では空き家調査を実施し、その結果を踏まえて、具体的な対策等を検討していく予定です。

議会の傍聴はどなたでもできます。議場の雰囲気、ぜひ体験しに来てくださいね♪

ミムリンのロメモ

## 問

内田 三郎議員

# 寄居スマートインターチェンジ美里地区内の周辺整備計画について

**答** 県と連携を図りながら計画を進めていきます。(町長)



**問** スマートインターチェンジ及び美里地区内、

県道本庄寄居線からの進入道路、寄居地区隣接県道小前田見玉線からの進入道路の進展状況と今後の工事計画を伺います。

また、県道本庄寄居線からスマートインターチェンジへのアクセス道路周辺において開発を進めていくと聞きますが、状況をお聞きます。

**町長**

県道本庄寄居線からスマートインターチェンジへアクセスする道路である町道1級10号線については、天神川にかかる甘粕大橋の下部工が既に完了しており、今回の議会に工事契約

を議案として提出しています。

県道小前田見玉線からのアクセス道路である町道790号線は現在、寄居町と用地測量の着手時期等についての調整を行っています。今後関係機関と協力をしながら、平成28年10月の開通に向けて事業を推進していきます。

なお、美里町分のアクセス道路についても、今年度中に発注する予定で準備を進めています。

また、スマートインターへのアクセス道路周辺の開発について、町では将来を見据えた主要事業として、平成28年10月供用開始を目指す寄居P

Aスマートインターチェンジと、その利便性を活用した産業団地の整備を計画しています。

産業団地は、

県道本庄寄居線から寄居PAスマートインターチェンジ

へのアクセス道路沿線と天神川東側の約15ヘクタールの用地で計画をしています。

この計画地を農村地域工業等導入促進法に基づき新たな工業導入地区に指定を進めており、

現在、農村地

域工業等導入実施計画書の変更計画を作成し、関係機関との調整を行っています。産業団地は県企業局が事業主体となり造成する計画です。産業団地の整備区域が確定し、県から買い取り価格が示された後、地権者と交渉を行う予定で進めています。

雇用機会の創出と財源確保のため、県と連携を図りながら、早期の産業団地の整備と企業立地を進めており、進展があれば逐次報告します。



寄居 PA (下り)

寄居 星の王子さま PA は日本初のテーマ型パーキングエリアとして知られています。

ミムリンのロメモ

問

田端恵美子議員

# ロタウイルスワクチンの公費助成について

答 子育て支援という側面も踏まえ、今後検討します(町長)



問

ロタウイルスは、5歳未満の乳幼児におけるウイルス性胃腸炎の主な原因です。5歳までにほぼ全ての小児がロタウイルスに感染し、胃腸炎を発症することが知られています。感染力が高いために感染拡大を防ぐことは難しく、毎年冬から春にかけて全国的な流行が見られており、発症した場合、急速に脱水が進行するため、入院治療を要する場合が多く、全国で5歳未満の乳幼児がロタウイルス性胃腸炎で入院する頻度は40人〜60人います。

国の試算では、医療費以外の付き添いや通院による欠勤などによって失われた労働力の額、労働損失も含めたロタウイルス感染症による経済的負担の総額は年間540億円に上ると推定されています。



また、ワクチン接種は働く家族にもメリットがあります。ロタウイルス胃腸炎にかかる時、家族は看病のため仕事を休み、ほかの育児施設を探すなどの生活面と精神面の負担がふえます。そういったことを考慮し、公費助成ができればと思いますが、見解を伺います。

町長

現在、ロタウイルスワクチンは任意の予防接種で実施されており、接種を受けるための費用については、全額個人負担と

問

昨年敬老会に変わり、地域でお祝いする感染予防の充実とともに、子育て支援という側面も踏まえ、今後検討をしていきます。

町長

区長会等で意見をいただく中で、「いきいき事業に参加されている方が70歳以上なので、合わせてほしい」という要望を受けてほしい」といっていました。70歳以上にすることについては、今後の実施状況を踏まえ、さらに参加者や区長会等の意見も幅広くお聞きしながら検討していきたいと思っております。

問

柳瀬 忠作議員

# 遺跡の森総合グラウンドの補修工事について

答 安心安全に利用いただけるよう施設管理に努めます(教育長)



問

遺跡の森総合グラウンドは、設置から20年以上経過しています。この間、教育委員会では砂や黒土を補充してグラウンドの維持・管理に努めてきましたが、グラウンドの利用者は「長年にわたる風雨等により表土が薄くなり、グラウンド内には石が多く見られ、土も固くなり、砂や黒土での修復では安全面が不安を感じる」と言っています。

教育長

遺跡の森総合グラウンドは完成から27年が経過し、グラウンドの表土は冬の強風や雨等による侵食を受けてきました。そのため、町では風よけのための植樹やネットの設置、転圧ローラーでの飛散防止対策、砂等の補充を行い、維持管理に努めてきました。

町長

グラウンドの維持・管理については、ある程度計画的に、砂だけではなく土も含めて入れていく必要があると思っております。

教育委員会で試みてもらいます。体育施設全般がかなり老朽化していますが、補修工事を一度に行つと高額な費用がかかるため、補助事業があるものを優先し、長寿命化を念頭にしながら対応していきたいと思っております。



遺跡の森総合グラウンド

最低限でもグラウンド内に土を入れる盛り土をして、健康増進や体力向上などに有効なスポーツが安心して行えるようにすべきであると考えます。

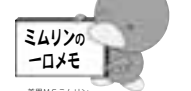
総合公園内の他の体育施設等についても、完成から25年以上が経過し、老朽化が進んでいることから、今後利用者の方の声を傾け、現況調査や管理方法の検討を行ないな

がら、安心安全に利用いただけるよう施設管理に努めます。なお、総合グラウンドの維持管理については、引き続き砂の補充を行うとともに、石の除去は利用団体にもご協力いただければと考えています。



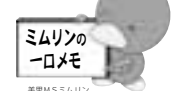
美里MSミムリン

平成元年に遺跡の森総合グラウンドが完成する前は、中学校で町民体育祭が行われていました。



ミムリンのロメモ

「みさと郷土かるた」は、平成6年に町内小中学生から読み札、絵札を募集してつくられました。



ミムリンのロメモ